

# 建設技術審査証明事業 住宅等 関連技術

## 概要書

### FP-BESTEX II 工法 (プレボーリング根固め工法)

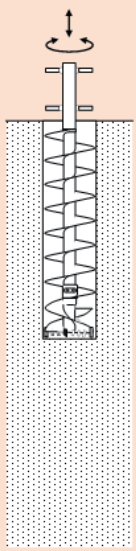
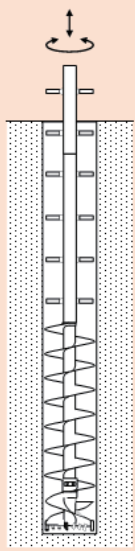
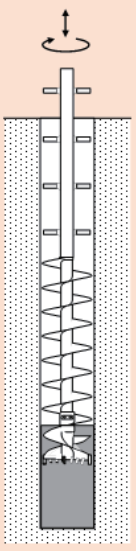
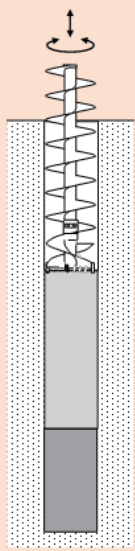
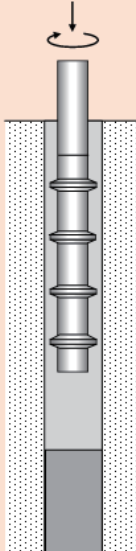
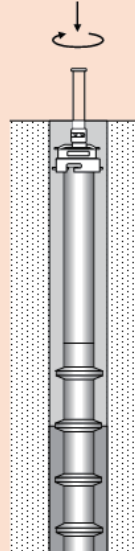


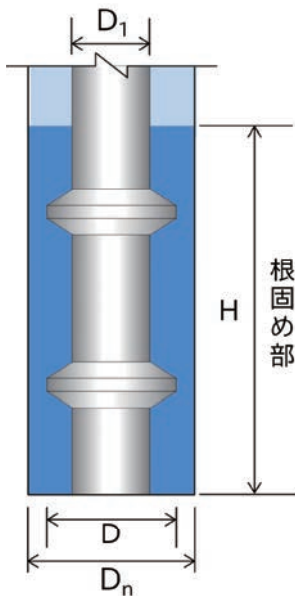
2025年8月

建設技術審査証明協議会会員



# 施工手順

①掘削・攪拌	②掘削孔の築造	③根固め部の築造	④掘削攪拌装置引上	⑤くいの挿入	⑥定着
					
くい心セット後、適宜掘削液を注入しながら、所定深度まで掘削する。	掘削装置を正回転・逆回転及び上下反復して、掘削孔内を十分に攪拌する。	掘削底面より所定の範囲に根固め液(W/C=100%)を注入し、根固め部を築造する。オーガ駆動装置は正回転とする。	根固め液注入後、くい周辺固定液(W/C=100%)を横出ししながら、掘削装置を引上げる。	掘削孔にくいを建て込み、適宜くいの継手施工を行い、埋設する。	自沈または回転埋設によりくいを所定深度に設置する。



節くいの呼び名	3045	3550	4050	4055	4560	5065	5070	6070	6075	6080	7090	80100
軸部径 $D_1$ (mm)	300	350	400	400	450	500	500	600	600	600	700	800
節部径 $D$ (mm)	450	500	500	550	600	650	700	700	750	800	900	1000
根固め径 $D_n$ (mm)	550	600	600	650	700	750	800	800	850	900	1000	1100
根固め高さ $H$ (mm)	2000											

## 適用範囲

- (1) 適用する地盤の種類  
基礎くいの先端付近の地盤の種類：砂質地盤、礫質地盤、粘土質地盤  
基礎くいの周囲の地盤の種類：砂質地盤、粘土質地盤
- (2) くい先端最大施工深さ（くい施工地盤面を基準としたくい先端の深度）  
くい施工地盤面－50 m
- (3) 適用くい径  
軸部径 300 mm～800 mm、節部径 450 mm～1000 mmの節くい  
なお、節くいのみまたは節くいの上にストレートくいを接続した基礎くいを使用する。  
節くいの上にストレートくいを継ぐ場合は、節くいの節部径を超えないものとする。

## 技術内容及び報告書の入手に関するお問い合わせ先

ホクコンマテリアル株式会社

<https://kisokui.com/>

(本社) 〒918-8152 福井市今市町66号20-2 T) 0776-38-3833

北陸支店・関西支店・中部支店・敦賀工場



株式会社北雄産業

<https://www.hokuyuu.com/>

(本社) 〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条9丁目2-18 T) 011-824-0111

函館営業所・東京営業所・函館福島工場



マナック株式会社

<https://manac-net.com/>

(本社) 〒452-0005 清須市西枇杷島町恵比須17番地 T) 052-501-5351

東京支店・浜松支店・大阪支店・豊橋営業所・岐阜営業所・静岡出張所・養老工場・浜松工場



本概要書は、一般財団法人ベターリビングが行った「建設技術審査証明事業（住宅等関連技術）」の結果を広く関係各位に紹介する目的で作成したものです。

一般財団法人ベターリビング <https://www.cbl.or.jp/>

建設技術審査証明協議会 <https://www.jacic.or.jp/sinsa>